

KTK

NO.92

後援会費郵便振替口座  
01070-7-32145  
あらぐさ後援会

# あらぐさ通信

編集 あらぐさ後援会

編集協力 社会福祉法人あらぐさ福祉会

〒617-0813 京都府長岡京市井ノ内広海道42-3

TEL 075-953-9212 FAX 075-953-9215

## フェルト作品で世界旅行・ひつじの旅



9月6日～11日の6日間、障害福祉センター・デイセンター1 主催の作品展『奇蹟的羊～世界旅行・ひつじの旅～』をアトリエ畔にて開催しました。世界中のいろいろな国をテーマに世界遺産の写真を見たりしながら作品作りを進め

ていきました。来場された方からの「全部かわいい」「アイデアがいいね」「作品の世界観がすてき」などの嬉しい言葉に、利用者・職員共々また頑張ろうと元気をもらえた作品展でした。

**みんなおいでよ～あらぐさひろば** 10月25日(日) 午前11時開会

詳細はチラシをご覧ください

# 法人設立 10 年、 無認可共同作業所から 30 年を迎えて

## ～あらぐさの課題検討について～

今年7月、障害福祉センターあらぐさは法人設立10周年を迎え、来年3月には無認可の共同作業所を開所して30周年を迎えることとなります。これもひとえにご家族はもとより、市民の皆様、行政の皆様方のご尽力とご支援の賜と心より感謝しております。

無認可時代より「どんなに障害が重くても、学び育った地域で、豊かに暮らし続けたい」との理念を掲げ、障害のある方々とそのご家族の願いに応えることができるよう取り組んでまいりました。

今、日本の社会は高齢者人口が3000万人を超えた超高齢者社会と言われています。そのうち一人暮らし高齢者が600万人、その中で生活保護以下の年金収入しかない方が300万人、収入も少なく、頼る人もなく、家を出て病院にも介護施設も行けない現実をNHKスペシャルでは「老人漂流社会」と

命名し、「老後破産」を警鐘しました。高齢者は「年を取ることが罪なのか」とつぶやきます。

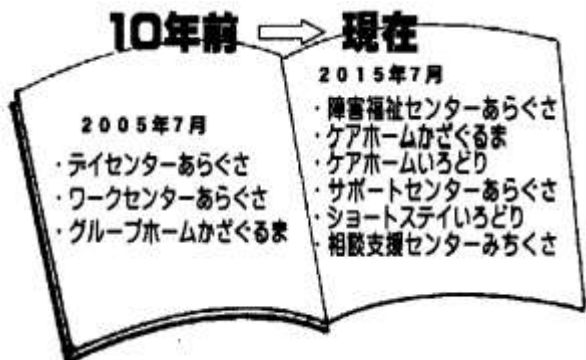
福祉サービスが措置から契約になり、応益負担が導入されているこの時代において、あらぐさの社会的役割とは何か、利用者とうり向き合うのか、社会に何を発信するのかなど大きな視点で検討する必要があります。同時に職員が定年まで安心して働き続けられる条件・環境づくりも大切な課題となっています。

法人設立10年、無認可共同作業所から30年の節に、私たちの理念が形だけで過ぎるのか、いっそう光を増し障害のある人の人生を支える実践として希望を生み出すのか問われます。「障害があることが不幸なのか」と言わなくていい社会を展望して。

統括事業長 永崎靖彦



# 学び育った地域で豊かに暮らし続けたい



あらくさは社会福祉法人となり認可施設開設10周年を迎えました。当時の「あらくさ通信」を見ますと「法人化」に向けての運動を伝えています。

無認可施設の時長岡京市と向日市で6軒の借家に分かれて活動していました。2002年10月の「第1回あらくさまつり」で通所者が要求を語り、訴えていました。

「もっと給料がほしい」「広いお仕事の部屋がほしい」「お店がほしい」「みんな一緒に活動できる建物がほしい」「訓練室や活動室、食堂など活動にあわせた部屋がほしい」「専門職員を配置してほしい」「温かい給食がほしい」

この集会で「あらくさの法人化を実現させる会」が発足して法人化に向けての運動は広がっていきます。入会呼びかけの文書には次のように書かれています。

あらくさの活動改善や内容の改善、保護者負担の軽減、運営の安定化を図り「地域でくらしたい」「ずっと安心の暮らしを」の願い実現へ、生活支援や生活の場などの事業を発展させたい。

みんなの願いが実現。認可施設が完成し、井ノ内の地で2005年7月1日、54名の利用者さんの活動が始まりました。

その後、ケアホームいろどりなどの事業が進み今日を迎えています。



2005年の通信



2015年7月2日 みんなのあらくさ30周年記念

## やりがいを感じながら工具を使う

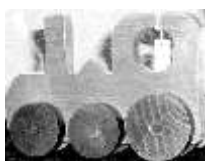
### 「ギーコ、ギーコ」切れたらみんなでグー！

「せーの。ギーコ、ギーコ」掛け声とのこぎりの音がする、そんな日があります。

#### あれやこれやと話しながら 笑顔の木工活動

デイセンターBグループの活動の中に木工作業があります。そこではのこぎりで切って、釘を打ち付けて組立て大きな籠を作ったり、細かく切った木片をくっつけて組み上げてアートな作品を生みだしたりと様々なものを制作しています。職員が万力で固定した木材を「ギーコ、ギーコ」と楽しそうな掛け声とともにのこぎりで切っていく。疲れたら次の人とバトンタッチ。切れたらみんな「グー！」とガッツポーズをしたり、「これどうすんの?」「これ? さっき切ったやつとくっつける」「そうか! くっつけるのか!」と作業をしながらあれやこれやとお話をしたりと利用者さんの笑顔が絶えない楽しい雰囲気での活動です。

#### 電動工具に驚き 車のおもちゃや プランター完成



そんな木工の時間ですが昨年からは電動のこぎりやドリルといった電動工具を使い始めました。電動工具を使った1回目の活動では、初めて見る機械に利用者さんは「なに、これ?」といった様子で興味津々。

使い方を一緒に確認しながら電源のスイッチを押すとドリルが回りだし「おー!!」驚きの声。ゆっくりハンドルを回すと「(穴が)開いた!!」と思わずニヤリ。皆、気持ちいい位に切れていく木材に大はしゃぎ。本格的な機械に職員も一緒になって興奮していました。こうして意外と電動工具はすぐに受け入れられ、昨年は早速ドリル等電動器具を使い分けて車のおもちゃやプランターを作りました。



#### 木工活動に変化 自然と役割分担

電動工具に使い慣れてくると木工の活動に少し変化が見られるようになりました。今までの木工の活動ではのこぎり等、みんなと同じ作業を順番交代に道具を回して取り組んでいました。電動工具を使うときも順番交代で回していたのですが、活動をしていくうちに当然ですが、作業に好みが出てくるよう

になりました。すると、ある人はハンドルを回してドリルで穴を開ける。ある人はレバーを引いて電動のこぎりで木を切る。ある人は切って加工した木にペンキで色を塗っていくといった風に、誰が決めたわけでもないのに自然と役割が分担されてきたのです。もちろん今まで通りどの作業もみんなでする時もあるのですが、担当として作業をお願いした時のやる気は全然違って、職員がセッティングして



木工の活動に“やりがい”というものを感じてくれているように思えてすごく嬉しくなります。



いる時に「いつでもできるぞ」と既に立ち上がって待つほどです。そんな利用者さんたちの「この作業は自分の仕事だ。」と張り切っている姿を見る度に

## 新作を製作中

現在木工の活動では作品展で飾るディスプレイ用のオブジェと新作の車のおもちゃを製作中です。完成したら作品展、販売に出していく予定です。木工チームの“みんな”で作った作品たちを是非一度見に来てみてください。

(Bグループ 太田政喜)

---

## あらぐさ後援会 加入・募金 (敬称略) <10ページより続き>

早川美智子 林節雄 林英夫 林広子 原木康夫 原木とし子 原田文孝 原田正雄 春田石油有限会社 ぱんだ企画 平方スミ子 平田喜裕 平塚洋子 平山功 広瀬美砂 福井共子 福村基 福山八千代 藤井俊一 藤井則男 藤松素子 藤本秀延 細井創 細井雅代 細井のぞみ 細川幸子 堀江幸男 本田章子 前川明雄 前田幸子 前田真之介 前田知臣 榊井良子 増田尚 増田弘子 増田康夫 増田靖子 松居正利 松村昭子 松山雅子 丸山彰子 三浦朱葉 三島春子 水口秋子 三谷文菜 三橋眞子 南結 南ゆかり 南下洋平

三宅善昭 宮崎俊一 宮本史朗 宮本靖子 村井悦予 村上宏 村野英介 村山容祥 森清森純子 森川浩世 森下純平 守屋伸江 安井吉子 安田耕治 安田隆 安田弘 安武梢 安武真理 山口綾 山口武彦 山下敏夫 山下紀子 山田央 山田千枝子 山田陽子 山本周一 山本史子 有限会社長岡美装社 横川和男 横川喜美江 横澤辰美 横山和子 横山昌子 横山実香 吉川泰史 吉田智子 吉田治子 吉永純 米村久美 療術院うえの上野 徳太 渡辺裕子 匿名41名

# みんな元気にいこうぜ！

## あらぐさで働く俺たちクッキー職人

章さん41歳、妹のアヤさんと両親の4人で暮らしています。あらぐさではクッキー、ケーキの工房で働いています。20年近くこの仕事にとりくみ、自信のある職人堅気の働き者です。

### おいたち

#### 家はミニ水族館のようでした

生まれた時は、2500gほどの小さな赤ちゃんでした。逆子で生まれて仮死状態でした。お医者さんが必死に息ができるようにと治療をしました。首のすわりや歩くことが少しずつ遅れていました。

1歳3ヶ月から聖ヨゼフ整肢園に通い、靴に矯正板を入れてもらって歩く練習をしました。そしてすぐに歩けるようになりました。

3歳からはポニーの学校に通園しました。お母さんたちの仲間ができ、よく学習会などをしました。当時、「乙訓障害児父母の会」は、3歳からの保育所入所運動をしていたのですが、入れず5歳から友岡保育所に入りました。

小さい時は小動物が好きで、沢ガニをつかまえに行ったり、カブト虫、ドジョウ、スッポン、アヒルなど家で飼っていました。家中ミニ水族館のようになっています。アヒルを学校に見せに行ったこともありました。

### 学校生活がはじまって

#### 宿題は絵日記から

小学校は長岡第五小に入学しました。1年生は普通学級で担任の先生の宿題で絵日記を書くようになりました。絵日記は中学部に入るまで毎日続けました。書いているうちに、絵の中にいろいろな変化が

でてきて、うしろ姿の人物が登場したり、漢字やむずかしい言葉も覚えて書けるようになってきました。

2年生からは障級に入り、音楽や給食など原学級で勉強し、クラスの女の子たちとは、とっても仲良しでした。

中学校への進学は、友だちのことなどいろいろ考えて向日が丘養護学校へ入学しました。お母さんは、ほっとした気持ちになりました。「わっしょいクラブ」（自主学童保育）にも入りました。その頃、クラスではみんなで一輪車の練習をしていました。章さんは小さい時から挑戦する気持ちが強く頑張っていました。

高等部では、民舞「荒馬」を踊りました。寄宿舎も経験しました。

### あらぐさへ

#### 雨の日も風の日も自転車で

お母さんは障級の頃から乙訓のお母さん達と「手をつなぐ親の会」の活動をしていました。あらぐさをつくる時期で、バザーのとりくみなども頑張っていました。高等部の卒業後の進路を考える時は、章さんがのびのびと自分の力が発揮できる事業所をと考えました。そして当時まだ無認可だったあらぐさ共同作業所へ入りました。



章さんは自宅からあらぐさまで雨の日も風の日も自転車で通所しています。仕事を終えて帰り道、ローソンやファミリーマートに寄って、ほっこりコーヒータイムをとっています。あらぐさのクッキー工房では、担当の計量などの仕事をきちんとこなしています。時々、仲間と仕事のやり方でトラブルが起こることがありますが、「勉強になる」と言ってくれる仲間がいて、一緒に働いています。章さんは工房の営業マンとして、京都府庁や市役所、イベント会場にも出かけに行きます。



## 家のきまり、自分で決めた日課 地域のなかまと共に

お母さんは、保育園の頃から夜9時までには絵本を読んだり、子守歌を歌ったり、子どもたちと過ごす習慣がありました。「地獄のそうべえ」などは空で言えるほどくりかえし読みました。

休日は子どもたちには、いろいろな体験をさせたいと思い、家族で出かけました。レストランで外食をする機会も多く、きちんと座っていることなど、お父さんは厳しくしつけていました。

章さんは働くようになってから、健康のため毎日、夜8時になると町内をランニングしています。水曜日になると、雑誌「テレビジョン」を買うのを楽しみにしています。テレビ番組を調べるのに漢字や時間のこともよく考えるようになりました。ラジカセや時計が好きでバザーなどで買ってきては分解したり、修理したりしています。

10年以上続いている太鼓サークル「でんでん」のレッスンは月に2〜3回。ガラシャ祭りや向日市まつりにも出演予定しています。今は沖縄のパラ

ソクで民舞「あしびな」などを練習しています。

ガイヘルは、あらぐさの「太郎の旅行社」の仲間と出かけています。計画については2ヶ月に1度お母さんたちも会議で説明を受けています。9月の連休は神戸の南京町へ行く予定です。ショートステイは今年になってから始めました。

いろいろな生活の中でのおこづかいは毎月のお給料でまかなうようにしています。年金の半分は貯金をしています。

## これからのこと

### 家族で助け合って

あらぐさケアホーム建設の運動をしていた時はちょうど家を引越した時期と重なりしばらく家で家族と過ごしたいと章さんは思っていました。グループホームに入っている友だちを見て、今年から自分でショートステイをしたいと思うようになりました。自分の事を自分で考えています。

妹のアヤさんはいつも章さんのことを気にかけています。「自分のことは自分でして！」と時に厳しい事も言いますが、とてもいい関係です。

毎日、自転車通勤している章さんは2度ほど、おまわりさんに道で呼び止められたことがありました。その時は、自分からあらぐさのニュースなどを見せて解決しましたが、家族は、九州で障害のある男性が、警察官に取り囲まれて、結果亡くなった事件に大きなショックを感じています。あらぐさに頼んで身分証明証を依頼しました。

お母さんは、この春店は閉めた後も、仕立物の仕事を続けています。お父さんは、仕事は丁寧。お掃除や洗濯など家事も得意です。数年前あらぐさまつりで後援会が模擬店を担当する時にはお父さんとお母さんは「夫婦うどん」と愛されるうどん店を切り盛りしました。

(取材—前田幸子・真殿尊子)





サポートセンターあらぐさ職員

東宮 健史 さん  
とうみや たけし

サポートセンターあらぐさの東宮です。私が福祉の道を進もうと思ったきっかけは、大学時代のキャンプカウンセラー活動でした。障がいのある方と野外活動や宿泊など様々な体験をさせていただきました。苦勞して作ったキャンプが終わった際に、みんなの笑顔が嬉しかったり、キャンプ後にグループで出かけることを重ねる中で、「障がいのある方の生活と関わる仕事がしたい」と思うようになりました。

\* \* \*

卒業も間近になり、福祉職場の就職フェアで出会ったのがあらぐさでした。職場体験でのことは今でも鮮明に残っています。グループに配達活動途中、一人の方が発作で戻ることになり、残った職員と行くことになりました。その時、自分が担当していた方がびっくりするような行動をされていたので、あたふたしてしまいました。でも、その後お届けにいったグループの職員や利用者の方に笑顔とあたたかい言葉で迎えてもらい、嬉しかったことを覚えています。

\* \* \*

仕事を始めてからは、日々経験する一つ一つが勉強でした。今でも失敗することがある中、たくさんの職員や利用者の方・保護者からの指導や教え、支えを受けながら続けてきています。

就職した当初に行われた研修の中で、「自分の目の前の相手だけでなく、自分の背中側にいる人にも目を配ることの大切さ」という話がありました。仕事を続けてきてたくさんの人から教えられたことがある中の、一つの大げな言葉として仕事に向かう中で、常に心に留め置いています。つつい目の前にあることや人だけに目がとらわれがちになりますが、そこだけでなく広く視野を持つ余裕を持つように心がけています。

\* \* \*

サポートセンターでの仕事は、障がいのある方の家庭生活や休日の余暇活動を支えることが中心です。ヘルパーとしていろいろなところに出かけると、私と同じように出かける方を多く見かけます。仕事を始めたころには、休日の外出はボランティアでの団体外出だったことを思い出します。そのころと比べて制度が整ってきましたが、まだまだ十分とは言えないと思います。

\* \* \*

障がいのある方が安心して豊かな生活を送る為には様々な支援が必要です。これからも自分たちができることを探り・学び、周りとの協力・連携をとりながら一歩ずつ進んでいきたいと思っています。





(福)あらぐさ福祉会

平成26年度 決算報告

貸借対照表

平成27年3月31日現在

資産の部		負債の部	
流動資産	149,678,473	流動負債	336,600
現金預金	88,544,782	未払金	309,375
原材料	960,683	預り金	27,225
未収金	59,919,588	仮受金	0
前払金	253,420		
		固定負債	189,842,002
固定資産	769,357,249	設備資金借入金	179,057,000
基本財産	654,885,817	退職給与引当金	10,785,002
その他の固定資産	114,471,432	負債の部 合計	190,178,602
		純資産の部	
		基本金	120,266,119
		国庫補助金等特別積立金	279,576,342
		その他の積立金	78,778,714
		次期繰越金収支差額	250,235,945
		純資産の部合計	728,857,120
資産の部 合計	919,035,722	負債及び純資産の部 合計	919,035,722

資金収支計算書

(自)平成26年4月1日 (至)平成27年3月31日

勘定科目	金額
就労支援事業活動による収支	
就労支援事業収入計	9,159,585
就労支援事業支出計	9,159,585
就労支援事業資金収支差額	0
福祉事業活動による収支	
福祉事業収入計	384,515,398
福祉事業支出計	368,213,557
福祉事業活動資金収支差額	16,301,841
施設整備等による収支	
施設整備等収入計	1,689,952
施設整備等支出計	2,877,570
施設整備等資金収支差額	-1,187,618
財務活動による収支	
財務収入計	9,868,000
財務支出計	27,168,713
財務活動資金収支差額	-17,300,713
当期資金収支差額合計	-2,186,490

前期末支払資金残高	150,567,680
当期末支払資金残高	148,381,190

事業活動収支計算書

(自)平成26年4月1日 (至)平成27年3月31日

勘定科目	金額
就労支援事業活動による収支	
就労支援事業活動収入計	9,159,585
就労支援事業活動支出計	9,166,208
就労支援事業活動収支差額	-6,623
福祉事業活動による収支	
福祉事業活動収入計	370,216,206
福祉事業活動支出計	360,836,759
福祉事業活動収支差額	9,379,447
事業活動外収支	
事業活動外収入計	28,049,996
事業活動外支出計	28,984,748
事業活動外収支差額	-934,752
経常収支差額	8,438,072
特別収支	
特別収入計	2,087,169
特別支出計	916,669
特別収支差額	1,170,500
当期活動収支差額合計	9,608,572
繰越活動収支差額	
前期繰越活動収支差額	241,927,373
当期末繰越活動収支差額	251,535,945
その他の積立金取崩額	6,000,000
その他の積立金積立額	7,300,000
次期繰越活動収支差額	250,235,945

# あらぐさ後援会 加入・募金 ありがとうございます

4月1日～8月31日 敬称略・順不同

青嶋芳文 赤井綾子 赤城博子 秋山喜美江  
阿波谷陽子 粟津温重 粟野賢 安藤齒科医院  
安藤純夫 生路智子 池田恭子 池田廣子 池田  
泰子 池辺俊太郎 井古テル子 石田秀子 石堂  
宏宜 石野拓 石野洋子 石橋雅子 石村和子  
和泉昇 一谷孝 伊地知洋晃 伊地知有華 伊藤  
五郎 伊藤卓次 稲葉薫 井上敏子 井上はる奈  
射場隆 今井和子 今井三郎 今井正 今西正恭  
岩本浩之 ウエスト 上田義博 上野志保子 内海  
朋子 大井やす 大釜和子 大木雄大 大島美砂枝  
大谷智子 大槻さつき 大月裕子 大槻裕治 大坪  
晴美 大西孝保 大橋生人 大橋祐子 大林雅子  
岡田茂和 岡本敦子 小川直 小川貴士 小川  
ますみ 小川麻友美 荻原義幸 奥山禎二郎 小谷  
勝利 乙訓医療生活協同組合 乙訓地区労働組合協  
議会 小野信子 甲斐幸子 垣内望美 掛川あづさ  
梶尾捷次 勝良和子 桂武士 加藤陽子 金澤裕希  
金森たえ子 金子美智子 株式会社魚国総本社京都  
支社 株式会社ハウジングステーション代表取締役  
山下吉昭 株式会社ユニバーサルホームサービス  
河合隆平 川北幸代 川瀬明子 川畑栄子 河邊  
文昭 菊井誠 岸陽子 北達美由紀 北村民子  
木村嘉男 共進自動車整備工場 共和運送株式会社

金原道雄 くぼた医院 鞍貫梢 倉橋克之 黒木  
サキ子 後藤真由美 小林正美 小林保太 近藤  
牧子 近藤真由美 西古永吉 齊田昭子 齊藤泰樹  
崔本鐘光 坂下佳子 相良乙若 桜田吉昭 佐々木  
康二 佐々木成子 佐々木慎介 佐名木直子  
佐名木良実 佐野顯治 猿橋正子 澤月子 塩尻  
光明 司法書士中西正人 下路晴香 白石直子  
鈴木麻子 鈴木純子 鈴木堂司 鈴木千賀子 鈴木  
ひかり すずき内科クリニック鈴木元 角摂子  
瀬川光子 節田もと 専修院福本哲了 宋彦一  
田上玲子 高居早苗 鷹野安子 鷹野勝英 高橋  
久美子 高橋謙二 高橋光子 高橋祐子 竹澤哲夫  
竹下久美 竹下誠 立山純治 建山昌子 田中栄治  
田中久美 田中誠一 田中正恭 田中善久 田中  
礼子 谷口忠行 谷口初美 谷口弘子 田主祥子  
玉井紀子 田村光春 俵功作 俵福造 長誠一郎  
千脇正子 辻真菜美 辻本勝浩 辻本恭子 津田  
拓也 津田洋子 津田みさ子 津田ユキ 津波章子  
都出とし子 銅銀正美 東宮健史 東宮靖武 富島  
ますみ 富永洋子 内藤秀春 内藤敬子 中川政之  
中川千津子 中川綾子 中川美智子 中川淑子  
永崎靖彦 中島悠太 中野功 中野史子 中野司  
中野修 中村文子 中本式子 中山恵美子 中山  
千恵子 夏川久子 西幹夫 西井美千代 西川茂  
西城信幸 西田政子 西田良平 西野由美子 西林  
喜代美 西村春美 西村秀晴 西村宗昭 西山  
俊太郎 野々下医院 野畑光代 野間知津子 橋口  
マサ子 橋爪早苗 長谷川朋子 波多由紀子 八田  
萬喜雄 服部源 馬場かね子 濱中信彦 浜野  
亜希子 浜野利夫 <5ページへ続く>

2015年度のあらぐさ後援会のご加入・更  
新をお願いします。郵便振替用紙を同封して  
いますのでご活用ください。ご入金と行き違  
いになりました場合は、なにとぞご容赦くだ  
さい。  
あらぐさ支援募金にもご協力をお願いいたし  
ます。

1992年6月5日 第3種郵便物承認(毎月1回25日発行) 2015年10月11日発行  
KTK増刊通信第4349号 発行所 京都障害者団体定期発行物協会  
〒602-8143 京都市上京区堀川通丸太町下ル中之町519 京都社会福祉会館4階  
京都障がい車内 発行人 高谷修 頒価50円(購読料は会費に含まれています)

KTK  
あらぐさ通信